



班長を任されて

2018年に班長に昇格したときには、喜びよりも責任ある仕事を任されたプレッシャーや不安の方が大きかった。前任者は近くにおらず、いろいろ教えてもらえるような環境ではない。自力で仕事を進めるしかなかったが、やらなければならぬこと、やらなくてもいいことの区別はなかなか把握できず、年を経るうちに何となく分かってくるようになった。

「1年目、2年目はがむしやりにやってきました。今はちよつとずつ落ち着いてきて、周りが見えるようになったかなと思います」。

Chubutsu Glocal Times

Vol.6
2020.5.18
発行



難波 優一

配管材事業部 製造2課 銅管第2班 班長

現在は社員8名、ベトナム人研修生2名、派遣社員数名を部下に持ち、会社から与えられた経営資源を有効活用し、目標を必達させるマネージメントの仕事に携わっている。

管理職の心得

まずは、QCDsを確保する為に決められたことをきちんとやっていた。これが製造業で一番大切なことだ。簡単そうに思えるが、できそうでできない。そこをきちんと管理していくのが班長の仕事だ。人を扱う難しさを日々感じているが、ここで役に立っているのが中学高校時代の野球部での経験である。

今でも夢に出てくるほど厳しい部活動だったが、社会人になる前に経験できたのは良かったと思っている。厳しい上下関係に矛盾を感じていた難波は、自分の価値観を押しつける前に、相手の育ってきた背景や何を考えているかを理解することが大事だと思ふようになった。

「部署には学校を卒業して間もない人から定年間近の人まで、さまざまな人がいます。育ってきた環境や仕事の環境がそれぞれ違うので、時代の変化に合わせて対応していかなければなりません。自分が教わったこと、経験してきたことを

そつくりそのままやると、ちよつと違うこともあるので気をつけています」。

部下に自身の経験を押しつけるのではなく、厳しさの中に優しさを持つ。発言する前には一呼吸置き、相手の考え方を尊重しながらこちらの言いたいことを伝えるように心掛けています。

配管材事業部の未来を背負う覚悟で

班長になって数年が経過したものの、難波自身はまだ班長として成果を出せていないと感じている。上司や部下にも恵まれて、仕事はやりやすい環境にあるが、それに甘んじてはいけけないのだという。

「現状維持を求め、それに満足してしまふのはよくありません。目の前にあることに挑戦する気持ちを忘れてはならないと思います。世の中の変化のスピードは早いので、先を見据えて、自分が今やらなくてはならないことを模索しているところです」。

部下の将来や先のことを考え、道筋を作ってやるのが自身の仕事。年上の部下は一生懸命やってくれるし、年下の部下は素直で向上心を持っていてくれる。「いつも周りが助けてくれて、ありが

2

005年（平成17年）、株式会社中央物産に入社した難波優一。現在は配管材事業部の製造2課銅管第2班で班長の職に就き、部署の仕事が円滑に進むように管理業務を行っている。仕事への思いや今後の目標について語ってもらった。

人としての成長

前職も製造業の仕事をしていて難波は、3年ほどで辞めてしばらく転々としていた。あるとき、落ち着いてしっかり働きたいと一念発起し、就職活動を開始。縁あって中央物産に入社した。それ以来、部内での異動はあったが、基本的に配管材事業部の仕事をしている。

入社当時は若さゆえに未熟なところがあった。仕事に対しての考え方や、何か壁にぶつかったときは人のせいにしてしまふところがあり、不満や言い訳を胸の内に抱えていたという。だが、職場の環境や自分の立場が変わったことで、失敗を受け入れ認めるからこそ次のステップに挑戦できるのだと気づいた。そこから、やる気を持って仕事に取り組めるようになっていったのだ。

たい環境だと思います。だからこそ、それに応えられるよう、貢献していきたいですね」。

走り続ける難波の活躍を、今後も見守りたい。



企業情報

◆設立年：1954年6月
◆年商：225億円

※2019年3月時点

難波優一さんへの メッセージ

入社より一緒にお仕事をされてきた
浦野さんと佐々木さんに、
難波さんについてとことん伺いました！

■第一印象

最初は強面だと思いました。しかし、一緒に
仕事をしていくうちに、優しくて熱く、人情
深い側面が見えてきました。

■忘れられない思い出

一緒に飲みに行くと「体調が悪い」と言ってい
たことがありました。なんと翌日インフルエン
ザが発覚。幸い僕はかかりませんでした（笑）。
仕事に対して様々なことを考えており、話して
いて面白いのでよく飲みに行っています。

■難波さんはどんな存在？

仕事は必ずやり遂げてくれる方です。班長と
してトラブルには率先して対応し、不良があ
れば一緒に考えてくれます。

■尊敬しているところ

人をまとめる力があるところです。全体的に
作業者のことをよく見ていて、1人ではなく
みんなで何かをやろうとしてくれます。

■難波さんへのメッセージ

これからまだまだ一緒に働いていくので、協力
しながら一緒に頑張っていきたいと思います！

■第一印象

難波さんとは前部署の銅管第一班でお会いしました。
初めは外見が怖かったので、「とっつきにくそうな
人だな……」と思いました（笑）。しかし、実際には
全くそのようなことはなく、年の差を感じさせない
ようなオープンな性格です。長期の休みには後輩
を飲みに誘ってくださいます。

■忘れられない思い出

以前の部署にいたとき、難波さんが昼休みに女の子
と話していたことがあります。実はその女の子とは
現在の難波さんの奥様で、別の現場から会いに来て
いたそうです。当時は男子校のような環境だったの
で、羨望の眼差しで見っていました（笑）。

■難波さんはどんな存在？

今も昔も変わらず兄貴分のような存在です。見た目
に反して仕事に対してストイックな考え方を持っ
ており、とても尊敬しています。飲み会の席で、現場
の班をまとめるにはどうしたら良いか真剣に考えて
いる姿が印象的でした。

■難波さんへのメッセージ

いつも無理なお願いを聞いてくださってありが
とうございます。中央物産を良い会社にしていけるよう
切磋琢磨していきましょう！

配管材事業部 営業 1 課
課長
浦野 浩希さん



品質保証部
配管材品質保証課 主任
佐々木 淳二さん

配管材事業部 製造 1 課
シート発泡班

高須 郁尚

配管材事業部 製造 1 課
シート発泡班

小川 伸也

message

まだ入社して 1 週間ぐらいの時でした。話し相手も
おらず、1 人で休んでいたら、小川さん（現副班長）
が「どう、仕事慣れた？」と話しかけてくれて、と
ても嬉しかったのを覚えています。
また、シート発泡の仕事をいろいろ教えていただき、
ありがとうございます。他にも仕事の相談を受けて
いただき、大変助かりました。これからもご指導よ
ろしくお願いします。

化成品事業部 製造課
加工第 2 班

河野 千夏

化成品事業部 製造課
加工第 2 班

原 寿美

message

改善提案を提出する時に私が考えていることを相
談すると、「ここをこうした方がもっと良いんじや
ないかな？」と親身になって話を聞いてくださいま
した。具体的なアドバイスだけでなく、時には図を
描いてわかりやすく助言してもらえるので、とても
感謝しています。いつもありがとうございます！

ありがとうを 伝えよう

多くの方が日頃から抱いているものの、
なかなか面と向かっては言えない感謝の気持ち。
今回はそんな「ありがとう」の言葉を
皆様からいただきました。

配管材事業部 製造 1 課
押出し発泡班

近藤 光

配管材事業部 製造 1 課
押出し発泡班

柿野工場の皆様

message

自分の質問に、いつも真剣に答えていただき、あり
がとうございます。作業者ごとに過去の経験を踏ま
えたアドバイスをしていただけるので、自分のような
経験の浅い社員にとっては、同じ失敗をしないとい
う意味で本当にありがたいです。

総務経理部 経理課

塚田 真衣

化成品事業部
営業課

西尾 純人

message

約 2 年間、私とペアで仕事をしてくださり、ありが
うございました。西尾さんと一緒に仕事ができ
良かったです。
西尾さんはいつも前向きで、私がミスをして怒ら
ずにフォローしてくださいました。日付を間違えてし
まったとき、滋賀県まで納品に走ってくれたことも
あります。しんどい時は支えてくれて、頑張ったとき
は褒めてくださったこと、本当に感謝しています。